

## 鳥取県湖山池の海水導入前後における

### 植物プランクトン群集の変化

【水環境対策チーム】

岡本将揮、宮本 康<sup>1)</sup>

湖山池の汽水化事業で生じた植物プランクトン群集の構造変化を定量的に明らかにするため、汽水化前後の植物プランクトンの群集構造と表層の水質を比較した。汽水化事業の前後3年（前：2009年～2011年、後：2012年～2014年）で毎月採水し、その植物プランクトンの同定結果と水質分析の結果を統計的に解析した。その結果、その群集構造に変化がみられ、淡水性の種群（*Anabaena affinis*, *Microcystis aeruginosa*, *M. ichthyoblabe*, *Planktothrix agardhii*, *Skeletonema subsalsum*, *Cyclotella meneghiniana*）が優占する構造から汽水・海産性の種群（*Heterocapsa rotundata*, *S. costatum*, *Cylindrotheca closterium*）が優占する変化していたことが明らかになった。さらに、水質は汽水化後で塩分の著しい上昇が認められた。しかし、汽水化前後で植物プランクトンの現存量には変化が見られなかった。栄養塩についてもアンモニア態窒素に減少傾向がみられたのみで、その他の栄養塩は有意な変化は見られなかった。

1) 現 福井県 里山里海湖研究所

投稿雑誌等

Laguna（汽水域研究），Vol. 23, 1-12, 2016.